

企業誘致

～民間企業と共にまちを育む

News Letter

Vol.44

第14回指定企業交流会を行いました

企業誘致

関東電気保安協会訪問・講習会及び東京都下水道局水再生センター視察

◆関東電気保安協会の新事業所訪問



DVDで事業紹介の様子

令和元年11月28日（木）指定企業交流会を行いました。交流会の前半は7月にオープンした一般財団法人関東電気保安協会多摩事業本部・国立事業所への訪問です。

真新しいオフィスの5階会議室で、新しく指定企業の仲間入りをした関東電気保安協会多摩事業本部長からの挨拶のあと、DVDを用いて業務内容をご紹介いただきました。同協会は、①ビルや工場などの高圧電気設備の保守・点検・工事 ②家庭や商店の低圧電気設備の点検・調査 ③電気安全知識の普及などの広報業務を行っており、こちらでは約200名のスタッフが勤務しています。

◆電気災害を起こさないために（講習会）

引き続き同協会の広報担当部長から、「電気災害の対応」について講習会が行われました。



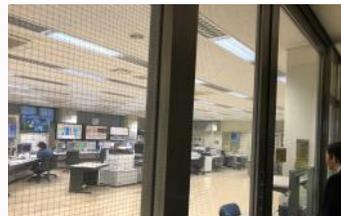
電気災害の講習会の様子

通電火災（地震による停電の後に電気の供給が復旧して起きる火災）や、トラッキング現象（コンセントとプラグの間にほこりがたまり、火災になる現象）など、実際に火災になる動画を見て、皆さんは真剣な表情で講習を受けていました。ブレーカーを落として避難することや感震ブレーカーの利用、トラッキング防止用タップ利用や定期的な清掃等の対策の説明がありました。このような電気安全講習会は市民団体等の要望があれば、同協会から講師が出向いて無料で実施することです。質疑応答のあと、講習内容をテーマにした「電気安全クイズ」が行われ、参加者は各テーブルごとに相談して回答しました。会社や業種は違っても、各テーブルでは和気あいあいとしたコミュニケーションが図られたようです。その後、参加者の皆さんから、近況報告などが行われました。

◆北多摩二号水再生センターの視察

交流会後半は、国立市南部にある東京都下水道局北多摩二号水再生センターの視察です。最初に管理棟4Fで、スライドとDVDを用いた事業説明がありました。北多摩二号水再生センターの処理地域は、国立市の大部分、立川市・国分寺市の一部で、処理面積は2,744haに及びます。下水道の役割や、水再生の処理方法などについて学びました。

◆自動化された処理システム



自動化された制御室

説明後、実際にセンター内を見学していきます。下水処理工程は自動化されており、制御室では人はほとんどおらず、多数の監視用コンピューターが動いています。

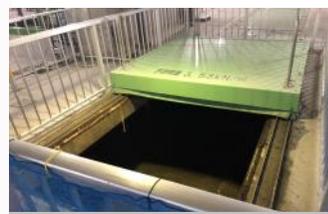
◆高速ろ過施設とA2O法

同センターは、浮上ろ材を使った高速ろ過で1時間に約7,000m³の処理ができる高速ろ過施設です。また、いまままで下水処理では取り除きにくい「窒素」や「りん」を除去するため、A2O法（嫌気-無酸素-好気法）という高度処理を行っています。



処理施設内で説明を聞く

◆参加者の声



蓋の空いた反応槽

微生物が汚れを分解する反応槽の中を覗き込むことができました。薄茶色の処理水が流れています。参加者からは「微生物に感謝だね」「下水処理は身近な施設だけど、こんな風に処理されているとは知らなかった」などの感想がありました。視察の最後に「下水道クイズ」を行い、グループで知識の再確認をします。今後も指定企業同士の交流を図り、情報交換、視察などを行いながら、地域経済の活性化やまちづくりに役立てていきます。